

会員數

47. 6. 30

地区別	人數	地区別	人數
北海道	10名	○名古屋	237名
青森	5	三重	1
秋田	7	奈良	1
岩手	12	○大阪合同	505
山形	8	鳥取	2
福島	1	島根	1
新潟	12	岡山	3
石川	1	広島	8
福井	8	山口	3
栃木	1	香川	8
茨城	3	愛媛	1
群馬	1	徳島	1
○埼玉	52	高知	16
千葉	1	福岡	11
○東京	433	大分	1
○神奈川	90	佐賀	1
長野	26	長崎	2
静岡	16	宮崎	3
愛知	1	○鹿児島	31
岐阜	1	総計	1,525

(○印は国体加入地区)

商法改悪反対資金カンパ報告

商法対策特別会計収支決算書

自昭和46年11月1日 至昭和47年6月30日

科 目	決 算 額	内 訳
収 入 の 部	円	
1. 資 金 カ ン パ	1,347,500	東京 192,000円 名古屋 182,100円 大阪 267,200円 全 国 195,200円
2. 本会計より受入れ	16,7980	役員 387,000円 その他 124,000円 一般会計より繰り入れ
合 计	1,515,480	
支 出 の 部		
1. 通 信 費	821,795	郵 送 料
2. 印 刷 費	563,000	日本経営通信社
3. 雜 費	130,685	商对委員会費用他
合 计	1,515,480	

全国青年税理士連盟として初めての資金カンパ運動が、全会員のご協力により年度末までに目標以上を達成出来た。一つの目的に向つて全会員の直接の意思を結集し、これをバックとして効果的な商法改悪反対運動を実行することが出来た。これほど全国青年税理士連盟の力を内外に示した現実の運動は他になかったと思ふ。

全会員のご支援に感謝します。
資金カンパを一般会計予算以上に目標をおき、全国の税理士二万有余に意見書等を送付した運動方法も初めてのことであった。

古屋・塔王の因縁が力のループが非常な努力で協力をおしまなかつたことである。

個人が加入全員の三分の一を占めた三割であった。この収納状態の時に二月十日発送を決意し、郵送料の不足分を借入金充当で行なったが、連盟としての初の土計画は見事に成功したと判断している。

全国青年税連の活動の手法は種々、考えられるが、どうが、資金カンパ方までの全ての税理士会の会員に直接訴える方法は、現在の日税連の在り方を

資金カンパ運動の 成果みのる

會長村田

全國之統一

全国青年税理士連盟
2月號

- (1) 税理士制度の発展強化
 - (2) 会員相互の研修及び親睦
 - (3) 会員相互の連絡・提携及
び資料交換

それ 자체を完全に遂行できた事実であり、会員が如何に商法改悪の本質を認識され、会員の具体的な協力があつたことではないでしょうか。全国青年連の活動に会員としての意思表示を執行部が最大限に發揮できたことも見逃せないと思う。

会費以上の金額をカンバとして求めるることは、バーグンの才覚もあつて

考えてみる時、一つの有効な具体的方法と思つた
日税連が一本の線に正式に統一された二・二二
大会の成功は、我々の力
会員の総力が大きく左右
したと言つても過言ではないと思う。
全國青年税連ここに在り
と日本中の税理士に呼びかけた事実は、永久に確
るだらう。

この資金カンパの意志を
燃やつつけよう！

日税連の最高執行部と懇談

昭和47年1月19日
殿
全国青年税理士連盟
会長 村田 昭

御願いの件

新年を迎え、重要案件が山積している日税連に於いて、日夜、ご活躍下さり有難く思っています。どうぞご健康には十分注意されて2万有余の会員の為にご努力下さることを切望します。

つきましては、日税連の正副会長の先生方と全国青税連執行部との懇談会を開催したいと思っております。法改正問題をメインテーマとして意見の交換をし日税連の動きを適格に把握したいし、正しい認識の上で言動をしたいと思っております。

出来ましたら2月又は3月の正副会長会の開催日に1時間位の予定でお願い出来ないでしょうか。ご検討賜りたく切にお願いする次第です。

開催についての日税連からの要望がありましたら、ご指示下さい。

よろしくお願ひ申し上げます。

以上

田会長時代に一回開催した経験があり木村会長になつてからも日税連との話必要があるとの認識から、まず木村会長と北川副会長

と村田会長との二つの対談でも採り上げ、正式に對談では京都で開催した理事会で検討し、全てを村田会長に一任の形となつた。商法問題を表面化してきました段階がよいとの判断から別掲の要請で正式に一月十九日付文書で、朝日新聞に出、北川文書で、朝日。両

朝日専務理事取扱との話しあい等で三名对三名が適当と言うことになり、木村会長、寺沢理事と日本会長の六名で

朝日専務理事取扱の如く三名で行うことになり、村田会長、平山商事連は、木村会長、北川副会長の六名で

時、二月十六日(水)

日税連の正副会長会の終了後、一時間位で、商法問題を中心に行つた。

日税連は、本日の正副会長会で正式に決定した直後であった。商法問題がメインテーマとなつたが、その様に理解してよいとの回答を得た。短時間であつたので本質的な話しあいは出来なかつたが、その様に理解してよいとの回答を得た。短時間であつたの効果をもつて、認識の出

会との懇談会は溝の税理士会は過去にも臨税問題を手がけていた経験があるが、その時の運動に比較すると今は、日税連レベルの陳情活動のみで開始した。二万有余の税理士に、その経過もよく説明されないまま、日税連の敗北となつた感がする。

税理士会は過去にも臨税問題は、一般会員が具体的な対処について如何にするかを考えている間に会員世論とは全く逆の方

向で一方的に押しきられ感がする。

税理士会は過去にも臨

税問題を手がけていた経験があるが、その時の運動に比較すると今は、日

税連は、全国青税連は全く逆の方

感がする。

税理士会は過去にも臨

税問題を手がけていた絏験があるが、その時の運動に比較すると今は、日

税連は、全国青税連は全く逆の方